

一瀬純一追悼演奏会



1979年12月8日(土) 県民会館大ホール

主催●一瀬純一追悼演奏会実行委員会 後援●山梨日日新聞社・山梨放送



第15回リサイタルより／昭和43年9月29日
表紙デザイナー 奴 緋子

PROGRAM

I 部

指揮…中村 淳

シェリトリンド……………メキシコ民謡……………ギタ ー 合 奏

インドの唄……………作曲 リムスキーコルサコフ …… //

夜明けのうた……………作曲 いずみたく…………… (唄)

モ ア……………映画「世界残酷物語」より……………ギタ ー 合 奏

ジャニーギター……………映画「大砂塵」より……………ギタ ー ソ ロ

エル、アマネセール……………作曲 ヌエボカルテート……………重 奏

そよ風と私……………作曲 エルネストレクオーナ……………ギタ ー 合 奏

山梨モダンギタークラブ ギターソロ 一 瀬 映 一
 ~演奏~ 弦 純 会
 ユニークギターズ (唄) 飯 野 隆 司

II 部

センチメント、ガウチョ……………作曲 フランシスコカナロ……………ギタークインテット

コメプリマ……………作曲 パオラタッカーニ…………… //

雪の降る町を……………作曲 中田喜直……………フ ル ー ト

枯 葉……………作曲 コスマ……………ピ ア ノ ソ ロ

いそしぎ……………映画「いそしぎ」より…………… (唄)
 作曲 ジェニーマンデル

モダンギタークインテット
 ~演奏~ フル ー ト 秋 山 アキラ
 ピアノ 杉 本 一 夫
 (唄) 渡 辺 由 佳

III 部

指揮 飯 島 国 男

レナータ……………H. LAVITRANO……………マンドリンオーケストラ

マンマ……………G.A. BIXIO…………… (唄) マンドリンオーケストラ
 編曲 佐藤克己

野菊の如き君なりき……………木下忠二……………マンドリンアンサンブル
 編曲 飯島国男

序 曲 第四番 短調……………K. WOLKI……………マンドリンオーケストラ

山梨大学マンドリンクラブ 英和短大マンドリンクラブ
 ~演奏~ 山梨モダンギタークラブ 県立女子短大マンドリンクラブ
 山梨県ギター協会 弦 純 会
 甲府マンドリンクラブ ユニークギターズ

(唄) 桐 原 ふじ子 商門楽友会

ごあいさつ

一瀬純一追悼演奏会実行委員長

飯島 国男

ギターに明け、ギターを愛し、ギター一すじに生きてきた人。山梨のギター発展のためにつくし、本県ギター界を今日あらしめた人、生涯をギターに捧げ、ギターに殉じた人、一瀬純一君がこの世を去って数ヶ月。

共に五線の階段を登り下りしてきた故人にゆかりの人達が集まり「追悼演奏会」を、とよびかけたところ多数の賛同を得、最後のステージ「プレクトラム・オーケストラ」に於いては実に160名という驚異的人員が集まった。これは器楽に於いて、県民会館始って以来の一大行事であり、山梨の音楽史上に例をみないことである。(ちなみに県民会館大ホールの演奏用椅子の数は100個)

思えば故人とは戦中・戦後を通じ35年、共にプレクトラム音楽普及に努力してきた。戦災一終戦一焼野原、紅梅町にポツンと残った私共の文庫蔵に同好の志が次第に集って、電灯もつかないお蔵の中に幾つかの楽器が持ち込まれ、若い連中の熱っぽい議論や演奏が繰り返えされた。

焼土に泉が湧き出す如く、ここに甲府マンドリンクラブが誕生し、やがてクラブハウスも完成、一瀬ギター教室も此処でウブ声をあげたのである。

戦後初めての放送、戦後最初の音楽会であった甲府マンドリンクラブ発表会、白木町の不二物産ビルに於ける、サロンコンサートのはしり、なにもかもが戦後の山梨音楽復興の先べんをつけたものである。そして、比留間マンドリンアンサンブルの客員として演奏会、ラジオ、レコード吹込、演奏旅行、映画音楽、テレビ出演と、あらゆる華やかな舞台において、故人と共に活躍して来たことは今はみな、懐かしい思い出となってしまった。

彼のギターは単なる名人芸だけではなかった、ソリストとしての素晴らしさは勿論だが、それにもまして伴奏者としての彼は天下に才たるものがあり、全国でも彼の右に出る者を私は知らない。実に惜しむべき人を、かけがえのない人を失った。然し、彼の死はこれが終りを告げるものではない。彼の教えを受けた人々、又彼の意志をついだ映一君を始め、多くのギタリスト達によって受けつがれてゆくものであり、今回の演奏会に於いて本来音楽会の冒頭に演奏されるべき「序曲」をあえて最後にもって来た意を、おくみとり願いたいものである。

追悼の言葉

一瀬純一君のこと

作家 深沢七郎

一瀬君が亡くなったのを知ったのは、用事で石和に帰ったときだった。葬儀もすんだあとだったし、病気のことすら知らなかったから意外だった。私などは、いろいろな、いたずらのこの世の道を歩いてきたけれども、彼はギターと共に生涯を甲府ですごした。だから甲府からギターの音が切れてしまったような気がしている。彼のように純粋にギターと生きたギタリストは数少ない。あの戦争が終るとすぐ、石和の私の家に来て、私とギターをひいた。甲府はまだ空襲の爪あとが生々しく瓦礫の町と道だった。フィアンセのヒトを自転車のうしろにのせて帰ったことがいまでも印象に残っている。彼を忍ぶ会が催されるので、私などはまっさきに駆けつけたい。が、この10年も私は心臓を病んでいるのでギターはほとんど弾いていないから残念だ。人の死は、惜しいとか、悲しいとか思ってもどうすることもできない。が、彼の死はギターと共に年上の私には親と子の反対の立場に置かれたような気がしてならない。

亡き一瀬純一氏を悼みて 比留間マンドリン研究所 比留間きぬ子

一瀬氏の訃報は御親友の一人飯島国男氏のお電話によって、もたらせられた。

「一瀬くんが！ 純ちゃんが……」と絶句された飯島氏の、ただならぬお声には私は全身を耳にして受話器を握りしめた。何故？ どうして？ とそんな言葉が頭の中を駆けめぐら^びのみで暫しは御悔みの言葉さへ出なかった。健康を害しておられる事は承っておったものの、つい多忙にかまけ遂に御見舞にも伺えなかった事を御遺族にも申し訳けなく思いました現在何よりの心残りに思われる。

一瀬氏との出会いは終戦後飯島氏の御紹介で私のアンサンブル（東京）のギターパートを応援して頂いた事に始まりそれを御縁に演奏会は、もとよりNHKの放送、オーディション（飯島氏と共に）レコード録音、そして映画音楽の音入れまで御依頼しその都度、遙々甲府より馳せ参じて下さったものである。最も感銘深い一コマは数々の名画を世に送られた松竹の木下恵介監督と御令弟木下忠司氏作曲による「野菊の如き君なりき」（伊藤左千夫の野菊の墓による映画化）の音入れであった。一瀬氏の豊かなギターの音色と巧まざる中に人の心を魅了するセンサイな表現力を高く評価された木下忠司より直接の御指名であり一瀬氏は愛器を胸に全身全霊を傾けてあの美しくも哀しいテーマのギターソロをつとめられたのである。（^因みにこの音楽はギター一瀬氏、マンドリン、比留間、マンドラ旧姓関口幸子、の三人の演奏が主体とされた）勿論木下忠司氏の期待には充分添った演奏の出来栄であったことは言うまでもない。私にも一生忘れ得ぬ思い出の一つである。

一瀬氏の死を悼みつつも斯うしてペンをとっていると今にも彼の屈託なきような童顔にも似た笑顔が目の前に現れそうに思える。人生の中で最も確実な事は「死」であり最もお確実なものその日時であると言う事が秘々と身に迫るのを覚えずにはいられない。御遺族をお慰め申上げると共に御愛息映一氏には亡き父上の御遺志をつぎその姿なき姿、声なき声にすがって今後ますます甲府ギター界に貢献して頂きたい、あなたの御心によって亡き父上のこの世で味わわれた心の御苦しみを取り去って上げて頂きたい。拙き文ながら亡き方の御冥福を祈り上げると共に映一氏の御健康と御活躍を心こめて念じ上げ筆をおく。

(友人) 瀬田千作

戦後間もない頃、私達門外漢にも音楽といえば、ギターの一瀬純一氏、マンドリンの飯島国男氏、フルートの秋山アキラ氏の名前が甲府マンドリンクラブの名前と共に耳に飛び込んできた。

其の後、秋山氏は写真の分野でも活躍されたので仲間としてお付き合いさせて戴いていたが、一瀬さんとはNHK甲府局でテレビ放送が始まった当時、まだテレビスタジオもなかった頃なので、ローカル番組は写真構成や、一部16ミリカメラで写した映画を放送していた。

其の頃一瀬さんはいろいろな番組の伴奏やバック音楽等を演奏しており、私の写した番組の音楽も全部作曲して演奏してくれた方で、初対面もNHKであった、時々取材にも同行して作曲のためのムードを現地で五線紙に書き入れたり、私とはとても気の合ったコンビであった。

当時は道も悪く現地まで車のはいらない場所も多かったが、硯島の奥の室畑分校への取材の時は二泊で行った、1日目に硯島の部落の旅館へ泊り明朝早く峠を2つ越えて分校へ行くことになっていた、その夜宿に着いて一瀬さんがリュックからとり出したのがサントリーホワイトの丸ビンであった、峠越えに重いので今夜空けてしまった方がよいだろうということになったが、生憎くNHKの大橋アナウンサーも運転手も私もアルコールには弱く、なめる程度だったので食前の雑談の中で少し多過ぎるとはいい乍らもほとんど一瀬さんが一人で空けてしまった。

次の日はさすがの一瀬さんも二日酔い気味で最初の峠でバテてしまい頂上までやっと3人で引上げた、私と大橋アナは予定もあるし現地と時間の打合せもあったので、一瀬さんは運転手にまかせて先行した、今は県境まで車で行けるが再び味あうこと出来ない当時の苦しい経験も楽しい思い出となって懐しい。

私ももっと酒が呑めたら一瀬さんとは無二の親友となって2人で呑み歩いたであろうが、アルコールで大きなズレがあったためにお付き合いもとぎれがちになってしまった。

時折いろいろな祝賀会等でお会いすることもあってお互いに懐かしがってはいたが、こんなに早く亡くなるんだつたらもっと深いお付き合いをさせてもらって一瀬さんの素晴らしい才能から数多くのものを学びとりたかったと悔いている昨今である。

楽しかった昔を偲び乍らご冥福を祈っている。

(山梨県写真団体連絡協議会会長)



各種新車

中古車

タカノ自動車販売

清水新居1380(甲府バイパスDポット北150m) ☎0552(22)8123

自宅 ☎055275-2243

(友人) 川久保正郎

一瀬さんと私のおつき合いは、そんな古い話ではないと思っていたら、もう15年以上もたっていることに気がついた。私がNHK甲府から連続放送劇を電波に乗せていたころである。どういわけかNHKに重宝がられて、ひっきりなしにドラマを書かされていた。そのうちに、音楽も既製の音盤では面白くないから誰かに依頼しようということになった。私が一週間ほど関西へ旅行中、京都のホテルへNHKから電話がはいった。今度のドラマのテーマソングを作れ、作曲者は依頼してあるという。私は歌詞を電話でお願いした。長距離の長電話だが相手がNHKだから気がラクで、三文文士が一流作家になったような気分だった。帰甲したら曲が出来上がっていた。それが一瀬さんとの最初の出合いである。それから、なにかにつけて一瀬さんのお世話になった。こういう感じのブリッジ音楽を5秒間、とお願いすると、ちゃんと希望通り作曲してくれた。そのうちに一瀬さんが「うまいテノール歌手がいるから今度のテーマソングをそれに歌わせたら」と言う。よし、それで行こう、と歌ってくれたのが、なんとピアニストの田沢弘二氏であった。テープも保存してあるが、うら声なんか使って田沢氏も大したものだった。「次のドラマ音楽にはオカリナを使ってみよう」などと一瀬さんは積極的に意見を出してくれたりした。オカリナを吹いてくれたのは中学生だったが、なんとそれが映一君だったのだ。

「あら、ほんと？男のアソコには骨がないの？」と彼女は細い目を丸くした。一瀬さんはじめ、まわりの悪童連は腹をかかえて笑い「彼女、そういう骨のある状態しか知らないんだな」……というエピソードとともに私に紹介してくれた、その彼女が桐原ふじ子さんである。考えてみると、フルートの秋山さんをはじめ、県内のそうそうたる人達のほとんどは、一瀬さんを通じて私は知り合ったようである。誰からも好かれた一瀬さんの人柄であろう。名前の通り、純なること随一の人で、やっぱり善人は早く逝かれるものか、と私をはじめ後に残った悪男悪女の顔ぶれを見て、つくづく思う昨今である。

そのころ乗用車を持っている人など、ほとんどいなかった。私は愛車ルノーへ一瀬さんと桐原さんを乗せて、よく私的演奏会を開いてもらった。2人乗せると高見山一人ぶん以上ありそうな気がして、ボロ車のスプリングの折れるのを心配したものだった。一瀬さんのギターは車と同じで、燃料がないと動かない。譜面台のそばへウイスキーを置くくとスムーズに指が動きだすのだった。

深沢七郎さんは私の大先輩で、もう30数年も前からお世話になっている。一瀬さんが深沢さんの愛弟子だったことは、ずうっと後で知って奇縁に驚いたものである。「一瀬君はよくうちへ遊びに来てた」とだけ深沢さんから聞いていた。深沢さんはそういう人だ。一瀬さんの、深沢さんに対する態度は、いつも立派だった。「僕があと百年ギターを弾いても、先生の足もとにも及ばないのです」と一瀬さんは私に述懐した。そのときの神妙な真面目な一瀬さんの顔は、私のはじめて見るものだった。やはりこの人もえらい人だな、と私は一瀬さんにあらためて敬意を表し、そのような友人を持ち得た喜びにひたつたものである。

宝石・真珠・貴金属・装身具 製造卸輸出入

石川宝石貴金属株式会社

本社 甲府市愛宕町190番地 電話(0552)51-0101(代表)
東京営業所 東京都文京区湯島3丁目16-14
トーキーユニオンビル503号
電話(03)834-5618・5619番 833-4518番

(友人) 内田一郎

私はかなり前から一瀬純一君を「純一ちゃん」と呼んでいた。孫のある彼には似合わないかもしれないが彼は子供ばい面があってこの呼び方がぴったりだった。船津に住んでいた24年の暮の押し迫った師走(晦)に元連雀(武田二丁目)のN氏の座敷を亡き野沢要人君の世話で借りることが出来た。そこの2.3軒下に純一ちゃんが住んでいた。私が移って来ると色々の連中が訪ねて来て大家も目を廻す位であった。そしてご丁寧にも呑平で大声を出す連中に学校の先生の家庭ではホトホト困つたらしいが主人が酒には目がない上に好人物だったのでまあまあ無事だった。純一ちゃん先輩に猪股と言うギターリストが居た。ふだんは何かの行商をやって旅をして金が入ると帰って来て夜中でもかまわず純一ちゃんを起して一緒に私の処へ襲撃をかけた。一間で子供も未だ小さく寝ているが隣の室には此の家の子供達も居る。酒は呑めんが奥山磐と言うコロンビア専属の作曲家がその頃敷島の方に疎開していたが医者の方が専門だが音楽家として名が通っていた。画描や文学音楽家の仲間はその頃世の中が販戦の暗雪に耐えかねて寄ると触ると酒でも呑まねばやりきれないと言う社会状勢で芸術などと高尚の扱いを未だされていなかった。酒と言っても焼酎か薬用アルコールを調剤してウイスキー風につくった、イカ物でそれでも何んとか手にいれるのに苦労した。葡萄酒は酔いのだった。そんな雰囲気の中で純一ちゃんは可愛い青年で奥さんと一緒になったばかりだった、又、若い連中がギターを習いに来て薬局はまだやっていなかったと思う。両親も私の借りている家の路地を入った所に住んでいた。お父さんは市議員をやった人でなかなか風才の立派な人だった、水晶関係の仕事をしていたようであった、純一ちゃんが笑うと本当に童顔と言うか、賑やかであの大きい体を踊らせるようにして声を立てた。どちらかと言うと坊ちゃん育ちの我儘でもあったろう。妹さんがひとりいて可愛い女学生だった。純一ちゃんのあの明るい性格は開放的で人なつっこい天性を持っていたのでギター教室を始めた事は私は影ながら彼が処を得せしめたと心から祝福した。おいおい世の中も文化と言う言葉を使うようになり国や県でも芸術祭を企画して第一回芸術祭専門委員に私はなって3回勤めたことがあった。ギターの普及は誠にすばらしいもので何処でもギターの音が流れ若者でギターをやらない者は居ないといえる程の流行になった。今まで音楽、美術、文学等にアキていたその反動が自然にこうした形になって表れた。婦人の服装や美容髪型など実に急変した。不思議と言えば不思議だがおさえていた水が吹き上げたような勢いであった。純一ちゃんの得意の絶頂であり人々も彼に期待する処が多かった。幸い秋山アキラ、桐原ふじ子と言う良き友人に恵まれて度々華かなりサイタルも開き盛況で好評をばくした。私は本当に嬉しかった。私もあの所に2年近く居たが今の所にアトリエが出来て離れていたので顔を合わせる機会も少なくなったがそれでも時々彼の店の前を通ると奥からニコニコしながら大きな声をして出て来た姿が目に残る。暫らく見なかったら急に痩せて黒々した髪毛を長くして顔色も褐色だった。私は密かにこれは、ガンではないかと危ぶんだが然し本人には言わなかった、だが私の予感が実際に表れて亡くなったと聞いて驚いた。

51歳では余りの若過ぎる、これから彼の本当の仕事が残っていたはずであったろう、誠に惜しい事をしたと悔まれてならない、泌と冥福を心から祈つて稿を終る。

合 掌



重量軽量鉄骨建築

有限会社 武井鉄工所

工場 / 甲府市新田町7-4 TEL 0552(25)1680
自宅 / 甲府市朝日4-5-22 TEL 0552(52)9067

(四二会) 鈴木 彰

一瀬君とは甲府商業学校（現在の甲府商業高校）で同級でした。旧制の中等学校ですから5年間いっしょだったわけです。入学したのが昭和15年、そしてその翌年に第2次世界大戦が始まったのです。そしてたちまち国内は戦時色一色に塗りつぶされてしまいました。働き盛りの人達が軍隊へ徴集されるので、それを補うために農家へ動員されて農作業を手伝うというようなことが何回もありました。そして5年生になった時、軍需工場への動員が命令されたのです。それからは毎日毎日工場で夜おそくまで残業して働きました。時には徹夜で仕事することもありました。その頃の娯楽といえば映画とラジオが最大の娯楽機関だったのですが、映画は戦争鼓吹のものばかり、ラジオから流れる歌はほとんどが軍歌といった具合で、カサカサに乾いたうるおいの無いものでした。一瀬君も——すみません、いつものように純ちゃんと言わせて下さい。純ちゃんも、こうした学生生活を送って来たのですが、既にこの時、ギターは非常に上手になっていました。軍需工場の片隅でギターを手にした純ちゃんを囲んで、つかれた体を休ませながら聞かせるギターの調べに私はどんなに慰められ、明るい気持ちにされたか、はかりしれません。そして終戦。——

それから何年かたって、私達は同級生10数人で無尽会をつくりまして、毎年一、二泊の旅行をするようになりました。ところがここでも純ちゃんはナンバー・ワンになったのです。というのは、旅行が大好きで、どんな用事があっても万障繰り合わせて必ず参加するのです。たった1回だけやむを得ない用事で行けないことがあったのですが、私達が行って来た数日後、1人で同じコースをちゃんとまわって来たのには驚いてしまいました。旅行が終ってから、旅行中のことでひとしきり話に花が咲いたあと、「ところで来年はどこへ行こうか。」と期待に目を輝かせながら言い出すのもきまって純ちゃんでした。

こうして思い出を書いていると、昔から現代までの純ちゃんの顔が次々と浮かんで来て、あの大きな眼をギョロっと（パッチリとはいへませんので）させながら、「やあ」と言って今にも入ってくるような気がしてなりません。純ちゃんは私達の心の中にいつまでもいつまでも生きているのです。

公害社会を是正し

皆様の健康をお守りする

春日居自然食センター

TEL 055326-3734

東山梨郡春日居町別田118の3

医師 小池 昭二

山梨県ギター協会 小池昭二

もうかれこれ13～4年も前の事になります。今春大学を卒業して、社会人になった2人の息子達が未だ9歳だった頃、親子共々ギターを教わるべく、武田一丁目の先生のお宅にお伺いした時、秋の昼下りの暖かい日射しが、先生の薬局の店頭差し込んで居りました。

ギターを教わるにつけて、先生に、我々親子3人は、大変御苦労を、お掛けしました。

かたや頭で理解しても、体に音楽を感じない年頃になってしまっている親、一方は音楽に乗って来ても、やる気があるのかどうか分からない息子達、この両極端を、手綱捌き宜しく、十数年後の今日に至る迄、ギターを愛好する人間として、育てて下さいました。

レッスンの合間に、子供達には、飴玉をしゃぶらせ、親馬鹿であるおやじには、息子達の筋がよい達と言う精神的励ましを与えたりして。

先生は、弟子である私が評するのは、鳥潜がましい事ですが、教育者としてよりも、芸術家、又は演奏家として、秀れた才能をお持ちでした。大凡そ、飴玉をしゃぶらせて、弟子を引っ張って行く等という事は、最も不得手な部類に属して居られたと思います。

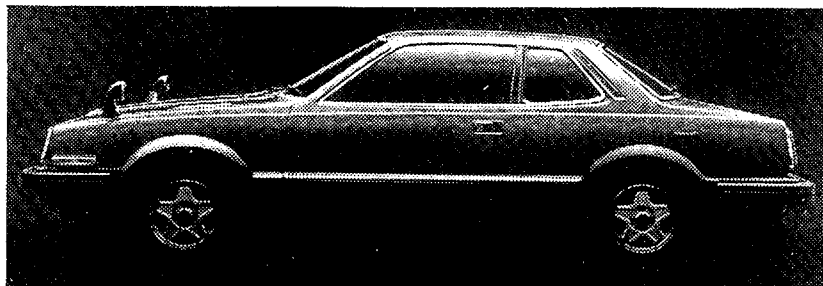
弟子達や、ギター愛好者が、先生について来たのは、先生のセンス豊かな音楽性の故であって、先生の意識的な努力とは裏腹に、先生の教育技術によってではありません。

44年夏、県民会館大ホールで催されたギター大合奏に於いて遺憾なく発揮された如く、秀れた才能は、数多くの人達の魂を魅了しました。その反面、その感受性の故に、世にある事の中の苦しみも多かった事と思います。その為か、普通の人なら、まだこれからと言う年頃で、あっけなく病の為に、帰らぬ客となってしまわれました。

先生の肉体は亡びても、先生のギター音楽に残された業績と、多くの人達に感銘を与えた先生の音楽家の魂は、不滅です。

残された我々は、先生のギター音楽をうけついで、後々迄も伝えてゆく事をこそ使命と感ずる次第です。

HONDA
PRELUDE **プレリュード** 実感してみませんか
新登場 いま話題のハードエレガンス感覚



確かな一台をお届けする **(株)ホンダベル甲府** 電話0552-24-3535(代)

甲府市国母8丁目13-39(甲府バイパス通り、甲府市中央卸売市場前)

(友人) 跡部 勝朗

去る6月24日丁度息子のサッカー応援のため南西中グラウンドにいた時に電話で先生のお亡くなりになったことを知った。その2、3日前から病状がよくないことはお聞きしていたがまさかこんなに早く亡くなられるとは!

現実に避け得られない人の死を思いお元気の時の先生のお顔を思いうかべつつ、この世の無情を難き涙を禁じ得なかった。私がまさかこんなに早くまだこれからの、しかも私と同年の先生の追悼文を書こうとはまさに青天の霹靂夢想だにできなかったことである。

昨年の9月先生がどうも体調がよくないと言うことで私の所に見えられ肝疾患であることを申し上げ専門の病院に紹介その後先生の不屈の闘病生活と精神力により非常に快方にむかわれ昨年末には私の所に「こんなに元気になったよ」と見えられた時にはあの9月の時に見えられた時の憔悴された面影は少しもなく以前の御元気の笑みをたたえた御顔でしたので私もほんとうにほっとしました。しかしその後病状は一進一退最後に入院された時も私は必ず先生の強い精神力と周囲の方々の暖いはげましにより必ず快復され再び音楽の世界で活躍されることを信じて疑いませんでしたが今となっては私自身医者として又医学の非力を限界をつくづく感じさせられました。

私と先生との出会いは昭和33年ギターを教えるために先生の門をたたいた時にはじまりそれから20年余り本当に長いおつき合いです。先生は私と同様こよなく酒を愛され私にとってはギターと言うよりむしろ酒を通じてのおつき合いの方が多かったのが事実です。先生は飲む程に酔うほどに人なつこい話しぶりになり、音楽のこと、ギターのこと又音楽を通じての人生その他、やき鳥を片手に深夜まで飲みあかしたことも今はもうなつかしい思い出となってしまいました。

私は先生の音楽に対するひたむきな情熱きびしさを知り、又音楽を通じての人の情け人生のロマンなど私にとっては、はかり知れない様な貴重な教えをのこして逝かれました。今私は心より先生に感謝の気持で一杯です。

まだまだ音楽人として社会人としてこれからその本領を發揮して頂かなければならなかったのに50歳と言う若さでなくなられた事はかえすがえすも残念なことであり山梨県のギター界においても一大損失と思います。先生にとってもまさにこれからの男の花道であった筈です。

あの葬儀の日あの沢山の会葬者、そこにはいろんな階層老若男女この姿を見ても故人の活動の分野が如何に広がったかということ又暖かい人柄であることを知ることができます。

こうして故人の思い出を書いていますと「久しぶりだなたまには一杯やるか」と電話でもかかってくる様な気がしてなりません。

最後に静かに先生の御冥福を心より御祈り致します。

鰻
自
慢



本店 甲府市中央4 桜町通り・電話(35)5903

富士見店 甲府市富士見1 中央病院前通り・電話(51)7272

(友人) 池田睦彦

純一君、いや、純一っちゃん!!

君は、色々な事で、俺達相生小学校の仲間より常に一步先を歩んだ。しかしいくら先を行くといっても、今度ばかりは早過ぎる。同級生の中から予科練に行ったのが何人かいて、私もその一人だったが、出かける前、母校に集まって、彼からも激励を受けた。これだけは俺達の方が早いつもりていた。これから彼に頼みたい事が沢山あったのに。

彼は尺八が好きだった。彼とのつき合いも、戦後はギターと尺八の関係が主であった。戦後間もない頃、宮城道雄の『春の海』を編曲し「合奏しよう」とギターを抱えて上曾根の私の実家へ来てくれた。その時、私の父の作曲『幌内の流れ』のリズムが気に入り、その場ですぐに作譜し、2人で長時間にわたって合奏し、意気投合したものだ。甲府放送局で、彼の率いるギター合奏の中に、私の尺八が入って『ホフマンの船歌』他、を放送したのもこの頃であった。日本が世界に誇る体操競技のチームが、甲府で合宿練習をした折にも、私の尺八を聞いてもらったが、彼は、ギタリストでありながら尺八を心から愛し、理解してくれた貴重な存在であった。

今、東芝から、尺八教則用テープの吹込みを依頼されているが、早速この中にも、彼のギターが必要であった。彼のいない今、これも意欲半減である。……同時に飲み友達をも失った。

幸い、よき家族、よきギターの後継者に恵まれている。純一っちゃんの遺志を、やり残した事を、これらの人々によって押し進められる事が、彼の御霊を慰める唯一の道である事を信じて、御一統、御会の御多幸と御発展を心から祈る次第である。

つつしんで、ギタリスト一瀬純一君の御冥福をお祈り致します。

合 掌

産婦人科

跡部医院

跡部勝朗

甲府市伊勢2丁目15-6

TEL 33-5456

37-1723

山梨モダンギタークラブ 笠井 尚

昭和27年晩秋、先生の自宅の応接間兼教室を訪れたのが一瀬純一先生と出逢いの時であった。勿論桐原ふじ子先生の紹介で心よく入会を認めてくれた。はじめての私は、緊張のあまり、先生から出された教則本のオタマジャクシが、ことのほか複雑に見え、もう結構ですよと先生の言葉があったときどこを弾いていたのか自分でも覚えていない位あがっていた。「それだけ弾ければ上等だよ、今日はこれまで」と言ったと思うと入会金と月謝をポケットに入れ用事があるからと、私より先に家を出た。後を追うように教室を出た私は、電車の時間があるので駅前の屋台でラーメンでも食べようかとノレンをくぐると、なんと今別れた先生がコップを片手にニヤッと笑をうかべて、君も一杯やらんかとコップを差しだしてくれた。音楽は勿論のこと酒の味も先生の指導よろしきを得て現在に至るのも何かの因縁と言えよう。しかし先生の指導力と才能は他人にはない抜群のものを持っていた。仲間の中には先生からギターと酒をとったら何が残るだろうか、なんて悪口をたたくのもいた。この簡、先生の思い出と言えは数限りない。唯の師弟としての関係だけでなく色々と人生経験を教えてくれたことは事実である。その後山梨県ギター協会を発足させ自ら初代会長をつとめ、県下の小中学生をはじめなんの楽しみもない多くの若者達にギターを通じロマンと夢をあたえ、音楽の振興と普及に日夜努力を重ねてこられた。先生独得の演奏テクニックは、専門家達からも高く評価されていたとも聞きおよんでいる。無情といおうか、人生なかばにしてこの世を去られた先生、もっともっと生きていてほしかった、今日ここに追悼演奏会を開催するなんて誰が予測されたであろう。しかし、一瀬純一の名と、先生のギター音楽は今なおわれわれの心の中に、ギターの響きと共に生きております。先生やすらかにやすみ下さい。ここに謹んで追悼の意を表します。

心をこめて…



Yamazaki Grand Hotel

湯村グランドホテル

甲府市塩部3丁目16-20
TEL 甲府0552(53)4151-4代

ユニークギターズ

つつしんで申し上げます。

ユニークギターズ育ての親である。一瀬純一先生の死去は誠に残念でなりません。先生、私達をおいてどうしてかくも早くお亡りになってしまったのですか、先生は私達グループにとって余りにも偉大な存在であり、心のささえでした。先生の暖かい心につつまれながら過ごしてきたこの十余年間というものは、有意義かつ何ものにも変えられない財産を賜ることが出来ました。思いおこせば先生にはなにからなにまで、お世話になりどうし、御指導はもちろんのこと、メンバーが足りないといっちは生徒さんを、合宿といえは寒いにもかかわらずバイクで数時間の道程を、本当に私共のグループを心にかけてとても可愛がってくれました。こんな思いやりのある先生を皆、尊敬し信頼していました。今こうして、素晴らしい仲間と互に合奏が出来るのも、すべて先生のお陰だと心から感謝しています。先生は本当にギターと言う楽器に人生を注がれました。そしてギター界の発展と普及に寄与なされ特に、山梨県におかれましては、ギターの先駆者とし演奏に御指導にご活躍しましたことは周知の認めるところです。先生は天性的にギターひと筋に生れるべくして生れ、それを忠実にまっとうし「一瀬純一のギターの世界」を見事に築きあげてしまいました。テクニックといい音の良さアレンジといい至宝というほかありません。しかしもう先生の音楽を聴くことが出来ないかと思うと深い感慨につつまれます。でも私達は幸せ者です。先生の、あの素晴らしい音楽を少しでも心に刻むことが出来ました。先生は亡くなられてしまいましたが先生の音楽はこれから出発するはずですし永遠に残ると確信しています。出来ることなら先生には長生をして欲しかった。私達をいつまでも叱咤激励して頂きたかったです今はただ先生の恩に報ることが出来ないまま先立ってしまったことが心残りです。先生、これからも先生の教えにそむくことなくユニークギターズの発展に努めますのでどうか安らかにお眠り下さい。先生、本当にいたらぬ私達をここまで導いてくださり有難とうございます心から感謝の念にたえません。先生有難とう先生さようなら。

一瀬映一 ギター教室

甲府市武田二丁目8の2

0552(53)3811

演奏者 (順不同)

●スタッフ●

構成 一瀬映一
 制作 田沢弘二
 演出美術 細井昇
 司会 秋山アキラ
 " 小田切めぐみ
 照明 ステージアートif
 音響 音響総合研究所
 富岡道明
 舞台監督 田沢弘二
 指揮 飯島国男
 " 中村淳
 ピアノ 杉本一夫

1st. Mandolin.

桜井一雅 (梨大 M. C)
 山中由章 "
 坂本裕二 "
 須藤政利 "
 川島功子 "
 笠井貴久子 "
 白井克佳 "
 山内尚 "
 赤池浩三 "
 伏見清美 "
 水野達雄 "
 堀口淳 (甲府 M. C)
 横沢宏和 "
 三井正好 (梨大 O B)
 水上友子 "
 坂本慶太 "
 古屋敦子 "
 窪田よしみ (県立女子短大)
 小林扶左江 "
 高橋千枝子 "

田中由美子 (英和短大)
 石川美恵子 "
 茅野寿美 "
 水上りえ "
 堀内一枝 (ユニークギタース)

2nd. Mandolin.

花沢美紀子 (梨大 M. C)
 久保島久美子 "
 大久保友子 "
 荻野洋子 "
 斉藤英希 "
 西宮節子 "
 原義明 "
 権田和也 "
 柴田康浩 "
 寺田久美子 "
 服部融治 "
 若林栄樹 "
 渡辺芳夫 "
 武藤新蔵 (甲府 M. C)
 遠藤弘子 (県立女子短大)
 望月清美 "
 伊藤裕子 "
 久保村由美 "
 本間千波 (英和短大)
 五味慶子 "
 横川和美 "
 角倉葉子 "
 長田まゆみ "
 三橋美登子 "
 野沢弘子 "

Mandola

末木明美 (梨大 M. C)
 望月三智子 "
 鈴木哲司 "
 奥野正人 "
 田中千恵 "
 桜本久 "
 堀口昭 (甲府 M. C)
 土屋美佐子 (県立女子短大)
 鈴木久美子 "
 千野文子 (英和短大)
 相川ゆかり "

Mandocello

内山定俊 (梨大 M. C)
 片山幸久 "
 神沢あさみ "
 内海隆盛 "
 谷岡良弘 "

Guitar

一瀬映一
 斉藤哲治 (梨大 M. C)
 安田茂樹 "
 芦沢正則 "
 伊東郁子 "
 竹中道夫 "
 羽中田忍 "
 堀池麻子 "
 増田美哉子 "
 小松泰三 "
 梶芳久 "

一瀬千恵	"	中込敦子	"
飯田みどり (梨大 M. C)	"	志村知江	"
奥田友通	"	山口さゆり	"
梶本浩	"	西牧良章	"
木俣裕二	"	喜多島寿香	"
小池公子	"	小林剛	"
藤橋敬佳	"	山田照彦	"
朝倉直樹	"	輿水好敏 (絃 純 会)	"
井上信司	"	輿水博美	"
小尾一彦	"	小池昭二	"
上条真紀	"	小池一知	"
桐畑治己	"	小池一幸	"
後藤克利	"	森早苗	"
佐々木容子	"	今橋久子	"
笹野井紀久	"	山田勲	"
原田裕二	"	篠原英雄 (絃 純 会)	"
平出規昭	"	小沢秀夫	"
石川利夫 (甲府 M. C)	"	高橋友晴	"
中込俊一 (山梨モダンギター)	"	中沢好雄	"
篠原英二	"	若尾順子	"
小松陽太郎	"	寺田和政	"
大木春文	"	長谷川茂美	"
山下隆之	"	寺田陽子	"
笠井尚	"	中村本子 (県立女子短大)	"
横打秀子	"	大芝文子	"
辻しげ子	"	水上小菊	"
松村武昭 (ユニークギター)	"	小河内文子	"
加賀美宝	"	古屋富美子	"
榎本豊	"	三枝茂美	"
渡辺文彦	"	中嶋双美 (英和短大)	"
浜田輝子	"	斉藤夕紀	"
角田多江子	"	大森克美	"
中川きみえ	"		

Contra bass

内堀光康 (梨大 M. C)
 榊原光
 弦間香 (県立女子短大)
 秋山伸行 (山梨モダンギター)

Flute

秋山アキラ
 小嶋英次 (梨大 M. C)
 寺井雅宣
 佐藤栄
 伊藤一美
 戸栗克枝 (ユニークギタース)

Oboe

斉木由美 (商門学友)

Clarinet

石原恵美子 (商門学友)
 鈴木かおる

Faggot

畑志信 (商門学友)

Rercussion

木俣裕二 (梨大 M. C)
 小尾一彦
 伏見清美

Vocal

桐原ふじ子
 飯野隆司
 渡辺由佳



Guitar Solo 煙が目にしみる arr. 1950s



●年譜

- 昭2. 12月5日 甲府市中央4丁目 190 生
14. 8 深沢七郎氏に師事
19. 3 甲府市立商業学校卒
- 11 甲商音楽会
20. 4 商門室内楽団音楽会(主催山梨文化連盟) 県会議事堂
- 11 NHK マンドリン四重奏戦後最初の放送
- 12 甲府マンドリンクラブ設立(副会長となる)
21. 2 マンドリン研究発表会 甲府マンドリンクラブ 県会議事堂
- 5 一瀬ギター研究所開設
- 6 県下音楽コンクール第1位(マンドリン四重奏) 県会議事堂
- 6 甲府マンドリンクラブ春季大演奏会 県会議事堂
- 7 甲府マンドリンクラブ 新峡室内楽団合同演奏会 丹頂館
22. 4 サロンコンサート(コーヒーケーキ付)マンドリン四重奏 富士物産ビル
- 7 甲府マンドリンクラブ春季演奏会 商工会議所ホール
- 23~25 ミンストルマンドリンソサティにて活躍
24. 1 松瀬会水曜コンサート
- 5 サンテアトル公園「アリババと四十人の盗賊」音楽担当
25. 6 甲府マンドリンクラブ研究発表会 山梨大学音楽祭 県会議事堂
26. 3 第1回モダンギター独奏会 モダンギター誕生 三彩美じゅく
- 9 第2回モダンギター独奏会 PL 教団
27. 4 第1回東日本民謡大会 日光
- 6 第3回モダンギター独奏会 モード女学院
- 8 モダンギター演奏会 市川大門
28. 3 第4回モダンギター独奏会 モード女学院
- 4 第2回東日本民謡大会 善光寺
- 6 モダンギター演奏会 歟沢
- 12 愛の運動芸能祭 県会議事堂
- 12 芸術祭洋楽演奏会 甲府二高講堂
29. 3 第1回山梨モダンギタークラブ発表演奏会(門下生) 教育研修所
- 5 第5回モダンギター独奏会 労農会館
- 8 比留間マンドリンアンサンブル特別演奏会 諏訪市民会館
- 11 スキーとギターの夕べ 教育研修所
- 12 芸術祭洋楽演奏会 甲府二高講堂
30. 2 比留間マンドリンアンサンブル 和歌山労音 和歌山市民会館
- 2 比留間マンドリンアンサンブル神戸労音 神戸海員会館
- 3 第2回モダンギタークラブ発表演奏会 労農会館
- 3 比留間マンドリンアンサンブル大阪労音 大阪女学院
- 5 比留間マンドリンアンサンブル定期演奏会 日本青年会館
- 6 第6回モダンギター独奏会 労農会館
- 10 比留間マンドリンアンサンブル山口県岩国音文 共立講堂
31. 3 第3回モダンギタークラブ発表演奏会 労農会館
- 4 AK オーディション合格
- 5 比留間マンドリンアンサンブル定期演奏会 日本青年会館
- 6 第7回モダンギター独奏会 栄和講堂
- 7 比留間マンドリンアンサンブル 仙台労音 仙台市朴法学園
- 9 歌と軽音楽の集い 労農会館
- 9 連続ラジオ放送(ぶどう園日記)作曲演奏 NHK
- 12 松竹映画「あなたと共に」 アフ・レコ
※アフ・レコはこの映画を機に20本近くに出演している。
32. 4 第8回モダンギター独奏会 県民会館大ホール
- 4 映画カンヌ向け版「24の瞳」 ダビング
- 4 映画新婚白書 ダビング
- 4 映画遠い雲 ダビング
- 4 映画「野菊の如き君なりき」 ダビング
- 4 比留間マンドリンアンサンブル定期演奏会 日本青年会館
- 昭32. 4月TVローカル甲斐風物詩 作曲・演奏3年連続
33. 4 比留間マンドリンアンサンブル定期演奏会 日本青年会館
- 5 第9回モダンギター独奏会 県民会館大ホール
- 11 NHK みんなで歌いましょう「元の家」作曲
- 12 NHK 全国TV「夜のしらべ」モダンギター独奏
- 12 映画 放浪記 ダビング
- 12 映画 浮雲 ダビング
- 12 映画 風花 ダビング
- 11 県芸術祭洋楽演奏会 県民会館大ホール
- 33~34 僻地巡回音楽演奏会 県下各地を廻る
34. 4 比留間マンドリンアンサンブル定期演奏会 日本青年会館
- 4 第10回モダンギター独奏会 県民会館大ホール
- 4 映画 不倫 ダビング
- 4 映画 丹下左衛門 ダビング
- 12 ギターのしらべ 映画講堂
35. 4 比留間マンドリンアンサンブル定期演奏会 日本青年会館
- 4 高根公民館落成記念音楽会
- 5 山梨県民会館落成記念音楽会
- 4 比留間マンドリン研究ギター科講師
- 11 ギターのしらべ 映画講堂
36. 3 モダンギター独奏会 富士吉田市
- 7 比留間マンドリンアンサンブル定期演奏会 日本青年会館
- 12 第1回絃純会発表会(門下生) 映画講堂
37. 3 第11回モダンギター独奏会 映画講堂
11. 第2回絃純会発表会(門下生) 映画講堂
38. 6 第12回モダンギター独奏会 映画講堂
- 12 第3回絃純会発表会(門下生) 映画講堂
39. 3 第13回モダンギター独奏会 映画講堂
- 12 第4回絃純会発表会(門下生) 映画講堂
40. 12 第5回絃純会発表会(門下生) 映画講堂
41. 7 第14回モダンギター独奏会 県民会館大ホール
43. 3 ギター教室20周年記念第6回絃純会発表会
- 3 深沢七郎出版記念リサイタル 県民会館大ホール
- 9 第15回モダンギター独奏会 県民会館大ホール
44. 4 第7回絃純会発表会 県民会館小ホール
45. 4 第8回絃純会発表会 県民会館小ホール
46. 5 第9回絃純会発表会 県民会館小ホール
47. 4 第10回絃純会発表会 県民会館小ホール
48. 5 第11回絃純会発表会 県民会館小ホール
- 9 チャリティーショー 富士吉田
- 12 山梨県ギター協会設立 会長となる
49. 4 第1回ギター協会合同演奏会 社教センター
- 5 第12回絃純会発表会 県民会館小ホール
50. 6 第13回絃純会発表会 県民会館小ホール
- 6 第2回ギター協会合同演奏会 社教センター
- 9 英霊大要追悼演奏会 県民会館大ホール
- 11 第1回ユニークギターズコンサート 県民会館小ホール
51. 4 山梨文化学園ギター科講師
- 4 第2回ユニークギターズコンサート 県民会館小ホール
- 5 第14回絃純会発表会 県民会館小ホール
52. 6 第15回絃純会発表会 県民会館小ホール
- 10 第3回ユニークギターズコンサート 県民会館小ホール
53. 6 第16回絃純会発表会 県民会館小ホール
- 10 第4回ユニークギターズコンサート 県民会館小ホール
54. 6 23日 第17回絃純会発表会 県民会館小ホール
- 6 24日 午前3時44分惜別、没、享年51歳 合掌

お礼のこたば

一瀬ギター教室主宰 一瀬 映一

父が息をひきとったのは今年6月24日のことでした。私は父が死んでから私の父がこんなに大勢の方々に慕われていたのかと非常に嬉しくありがたく思いました。というのは死後間もなく「追悼演奏会を」という声が飯島先生、秋山先生、桐原先生、その他、大勢の方から興り演奏会を實行するまでに到ったことです。当演奏会が實行されるまでには、皆さまの非常なご尽力がありました。特に、実行委員会、当演奏会出演者、プログラムに広告を載せていただいた各社、入場券をお買い上げいただいた方々、後援各社、追悼文をよせてくださった方々、等数百人の方々全員のご協力がなければとうていできるものではありません。ここに深くお礼を申し上げます。父が甲府で初のギター教室を開いたのが、終戦直後ですから、30年余りになります。父が山梨にもちこんだギターの活動を、諸先生方と共に絶やさないよう、増々盛り上げるよう頑張りたいと思っております。どうぞ今後ともよろしくご指導のほどお願い申し上げます。

■編集後記

秋山 アキラ

追悼演奏会というものは、仲々むづかしいものらしく、今迄計画されても実施された例が、少なかった様だ。

その点、実に今日の関係者の各位は良く動いてくれた。故一瀬純一君の人徳のゆえと言え、それまでだが、心より感謝の意を表しておく。

純ちゃん!!君との思い出は数多すぎて、とても限られた紙面では語りきれない。

たしか最初の出会いは、バイオリニストの七沢八郎君の紹介だった。

戦後、まもなく焼残った朝日町のビルでのコンサートは、後に「楢山節考」で有名になられた深沢七郎氏もラフな服装で見えられた事を憶えている。

小生は、まだフルートで参加したわけではなく、司会の役目だったが、これが小生のおしゃべり業の初めになってしまった。

甲府マンドリンクラブ、比留間マンドリン・アンサンブル。ソロに伴奏に、彼と何回のステージをふんだか数え切れない。

それだけではなく、彼の十五回に及ぶりサイタルは全部、司会の役を引受けさせてもらった。

僻地巡回演奏、時には飯島君や佐藤先生、桐原さんと最少の人員で、山峡の部落に繰込んだ事もあった。君の「野菊の如き君なりき」の映画のヒットで各地へ演奏旅行に出掛けた事も多かった。

岩国などは、まだ新幹線の開通前で、夜行の寝台車で、目的地についた時は、地球の裏側まで来た様だと、ぼやいていた。

神戸ではホテルの外に、繰出されるし、和歌山では、演奏前にちょっと一杯ひっかけたのがバレたりした。大阪の赤提灯の楽しかった事。

酒と言え、特に酒好きだった君に、時には苦言を提したり、時には悪友にもどって一処に飲みもしたが、あれで良かったのか、もっとプレーキ役を、はたすべきだったかと悔まれてならない。

フルートとギターのオリジナルの曲、イペールのアント・ラクトウを本邦初演したのも記録に残すべきだろう。

最後の仕事は、モーニング・サロンのリクエストに応じて、フルートのソロを何曲も編曲してもらった。

実に丁寧な編曲で、彼も気に入っていたらしく、珍らしく「曲集にしようや」と言い出して、ソロの吹きにくい所のチェックなども始めていた。だいぶ、放送でも好評だったが、彼の体の不調で、中断されてしまった。

純ちゃん!!君には、まだまだしてもらいたい事が沢山あった。君のギターのふくよかな音と愉快な笑い声は、まだ耳から消えさってはいない。

どうして早く、あの世に行ってしまったのか……。君の後継者も、君の足績を消さずに音楽の火を燃やし続けるだろうが、せめて、あと二十年、いや十年でも生きてほしかった。

純ちゃん!!聞えるだろう、君への賛歌、今日の大合奏が……。

